

『夢やあこがれに向かって Take off』

校長



校庭の雪解けも進み、木々にも小さな芽が見受けられるようになるなど、生命の輝きに満ちた季節となりました。本日、希望に胸を膨らませた76名の新1年生を迎え、全校児童668名で、令和8年度の鴻城小学校の教育活動がスタートします。

先日、4月1日の入学受付の際には、元気に挨拶をする児童が多く、大変感心いたしました。中には、「校長先生、よろしくお願ひします」と丁寧に挨拶をする児童もおり、驚きを覚え、今後への期待が大きく膨らみました。

また、春休み中にミニ児童会館の前を通りかかった際、「校長先生、見てください」と子どもたちに声をかけられ、練習中のダンスを披露してくれました。見終わった後には、「お仕事にありがとうございました」と挨拶があり、これもまた感銘を受けました。「あいさつ」「ありがとう」「アンパンマンのような相手を思う気持ち」は、本校に着任以来、一貫して子どもたちに語り続け、職員にも継続した指導をお願いしてきたことです。その成長の萌芽を感じることができ、大変喜ばしく思っております。

本年度、本校が掲げる学校経営の重点目標は、『愛ある学校で、夢・あこがれに向かう子の育成』です。子どもたちが、将来の大きな夢はもちろんのこと、日々の生活の中にある小さな夢や、身近な存在へのあこがれを見付けること。そして、「なりたい自分」を思い描きながら、その目標に向かって生き生きと自ら一歩を踏み出すこと。私たちは、そのような子どもたちの主体的な姿を目指しております。

その実現のために不可欠な土台は、学校が「愛ある場所」であるということです。子どもたちが「自分はここにいていいんだ」「大切にされている」と心から実感できて初めて、未知の世界へ飛び出す勇気が湧いてまいります。本校の職員は、一人一人の可能性を信じ、愛情をもって接する「伴走者」でありたいと考えております。時には支え、時には共に悩み、子どもたちのよりよい成長を促すために、職員一同、誠心誠意、力を尽くしてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、子どもたちがそれぞれの翼を広げ、自分らしい未来へ向かって「Take off」していく姿を、共に温かく見守り、お支えいただければ幸いに存じます。本年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。